

令和3年度 払戸小学校

学校評価シート①

評価領域

学習指導

重点目標	確かな学力の育成	
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数科では4年生・5年生の学年でTT指導を取り入れ、個に応じた「分かる授業」づくりに努めている。2年生・3年生が今年度、複式学級になったことから指導方法の工夫・改善に全校態勢で取り組んでいる。</li> <li>家庭学習の習慣化はほぼ達成している。学習内容の質の向上に向けた指導の手立て(リレーノートの取組等)を講じていく必要がある。</li> <li>昼読書の時間を楽しみにしている児童が多い。しかし、「読み聞かせ」は好むが文字を読み続けることへの抵抗感が大きい、気に入った本が選べないなど個人差が大きい。</li> <li>生活科や総合的な学習の時間等の活動では、地域のゲストティーチャー(GT)の参加を得て活動がスムーズに展開している。</li> </ul>	計画
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導の充実</li> <li>○小・中連携の推進</li> <li>○読書活動の充実</li> <li>○地域と協働、連携する学校教育の推進</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>加重平均目標値80±5%</b></p>	
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導と授業改善の取組を通して、児童が「分かる・できる」を実感できる授業づくりに努める。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の指導の充実を図る。</li> <li>・家庭学習の進め方を丁寧に指導し、質の向上につなげる。</li> <li>・共感する心や考える力を育む読書活動の取組を継続する。</li> <li>・地域のGTによる学習支援、活動支援の充実を図る。</li> </ul>	

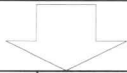


具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①授業改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じたきめ細やかな指導</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 ⇒ 意図的な話し合いの場の設定</li> </ul> </li> <li>②小・小, 小・中の相互授業参観</li> <li>③家庭学習の進め方の指導 ⇒ 質と量を発達段階に応じたものにする</li> <li>④読書活動の推進</li> <li>⑤地域人材の活用</li> </ul>	実行
----------	---	----

アンケート結果より 達成状況 ◇達成率 9月末 児童：90.6% 職員：77.7%

児童	⑰	先生の授業は分かりやすい	97%
	⑲	授業では、相手に伝わるように話すことができている	91%
	⑳	授業では、先生や友達の話をも自分の考えと比べながら聞いている	86%
	㉒	授業では、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできている	86%
	㉕	学校の勉強はよく分かる	92%
	㉖	家庭学習は毎日している	97%
	㉗	本を読むことが好きだ	85%
職員	①	個に応じたきめ細やかな指導により、子どもが「分かった・できた」と実感できる授業の実践に努めた	100%
	②	日々授業改善する意識をもち、各教科等の授業を行うことができた	89%
	③	「話すこと・聞くこと」の指導を充実させることで、子どもたちは、自分の考えをもち、共に学び合う学習ができた	89%
	④	家庭学習の進め方の指導を通して、子どもたちの家庭学習の量と質は発達段階に応じたものになっている	75%
	⑤	学区内の連携を図り、教科や外国語の授業の充実を図った(学年や小・中学校間の系統性を理解して指導)	50%
	⑥	共感する心や考える力を育む読書活動になるよう読書を推進した	63%

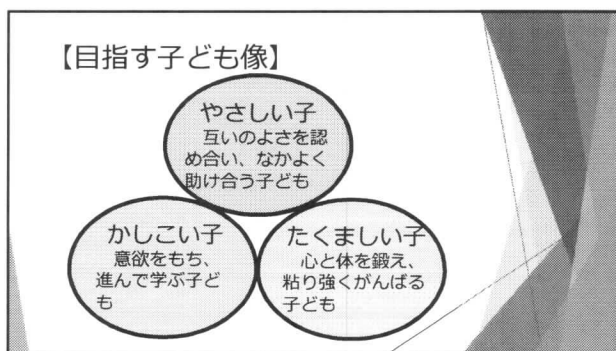
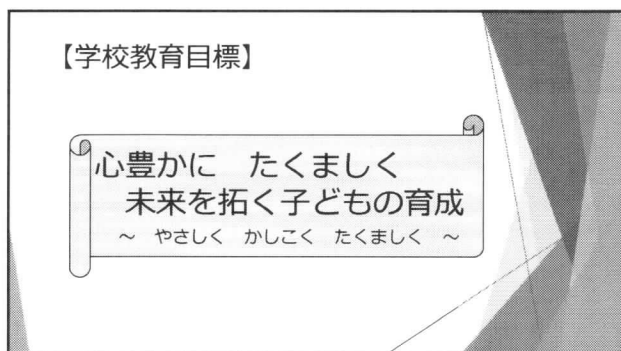
重点目標	豊かな心の育成	
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>兄弟学年や全校縦割活動，児童委員会活動の取組が，児童間の望ましい関係づくりにつながっている。</li> <li>前後の状況や個人の置かれた状況に思いが至らず，正しいか正しくないかの判断のみで相手を非難する発言を児童がしてしまう場合がある。</li> <li>相手の話を聞く前に，自分の言い分を主張し合うことでトラブルになることがある。</li> <li>あいさつの重要性は捉えているが，校外での自主的なあいさつ・気持ちの良いあいさつにはまだ課題が残る。</li> </ul>	計画
具体的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつの励行と，自他を尊重し，きまりや約束を守る態度の育成</li> <li>○道徳性を養う道徳科の指導</li> <li>○児童会主体の集会や交流活動の充実</li> <li>○地域との関わりを位置付けた教育課程の編成</li> </ul>	加重平均目標値80±5%
目標達成のための方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい生活習慣の定着を図る。 (あいさつ，丁寧な言葉遣い，正しい座り方，笑顔，規範意識)</li> <li>道徳科の実践を核として道徳性をかん養する。 (相手の思いに気付く，考えを受け止める，よさを認めることができる子ども)</li> <li>児童の自主的・自発的取組を奨励する。</li> <li>地域への愛着を深める触れ合い活動（人，もの，こと，情報発信）の充実を図り，地域行事への参加を奨励する。</li> </ul>	



具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>①望ましいあいさつや丁寧な言葉遣いなどの啓発・指導・賞賛</li> <li>②全教育活動を通じて行う道徳教育の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳科の授業の質と量の充実</li> <li>学校生活や各種行事等の事前指導と事後指導 ⇒道徳的実践力（道徳的な判断力・道徳的な心情・実践意欲と態度）の育成</li> </ul> </li> <li>③生徒指導の三機能を生かした学級活動や児童会活動，クラブ活動</li> <li>④地域に根ざした豊かな体験活動と地域行事への参加の奨励</li> </ul>	実行
----------	--	----

アンケート結果より 達成状況 ◇達成率 9月末 児童：92.9% 職員：80.4%

児童	②	自分から進んであいさつをしている	86%
	③	学校のきまりや約束を守って生活している	92%
	④	友達へのからかいやいじめはないようにしている	98%
	⑤	学級や縦割り班のみんなとなかよくできるような話し方や行動をしている	98%
	⑥	キラキラ言葉を使って，友達に思いやりの心で接している	94%
	⑦	係や当番の仕事に進んで取り組んでいる	91%
	⑨	地域の先生と勉強するのは楽しい	91%
職員	⑧	子どもたちはすすんで元気にあいさつしたり，気持ちよく笑顔で生活したりしている	90%
	⑩	子どもたちは丁寧な言葉遣いをしている	40%
	⑪	子どもたちは学校のきまりや約束を守っている	90%
	⑫	道徳科の授業を中心にして道徳性の涵養に努めた	90%
	⑬	相手の思いに気付いたり，相手の考えを受け止めたり，自他の良さを認めたりしている	80%
	⑭	学級活動や児童会活動，クラブ活動で子どもたちの自発的・自主的な取組を引き出した	90%
	⑮	子どもたちは，係・当番活動，委員会の常時活動で，進んで働いたり，やり遂げたりすることができている	100%
	⑯	地域人材を活用して様々な学習や活動を充実させた	63%



- 【経営の重点】
- 1 確かな学力の育成
  - 2 豊かな心の育成
  - 3 たくましさの育成
  - 4 教職員の研修の充実

【確かな学力の育成】  
OR2県学習状況調査

R2.12.2	国語	社会	算数	理科
4年	71.5		69.9	72.2
(県平均差)	(-5.5)		(+0.8)	(-5.5)
5年	73.7	79.4	79.0	92.9
(県平均差)	(+5.2)	(+11.3)	(+11.9)	(+14.6)
6年	67.9	64.1	79.5	62.4
(県平均差)	(+0.4)	(-6.7)	(+5.6)	(-10.8)

【確かな学力の育成】

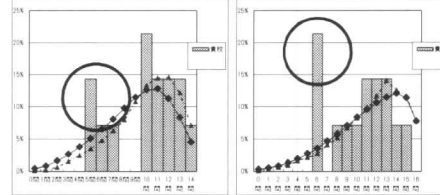
OR3全国学テ

R3.5.27	国語	算数
弘戸小 (県平均差)	71 (±0)	65 (-7)
秋田県 (全国平均差)	71 (+5.4)	72 (+1.8)
全国	64.7	70.2

【確かな学力の育成】

OR3全国学テ

国語 71(±0) 算数 62(-7)



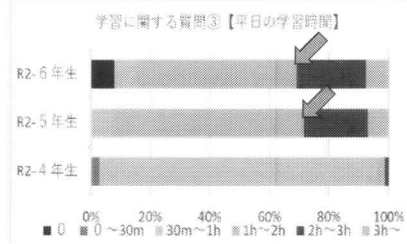
【確かな学力の育成】

OR2県学習状況調査

R2.12.2	国語	社会	算数	理科
4年 (県平均差)	71.5 (-5.5)		69.9 (+0.8)	72.2 (-5.5)
5年 (県平均差)	73.7 (+5.2)	79.4 (+11.3)	79.0 (+11.9)	92.9 (+14.6)
6年 (県平均差)	67.9 (+0.4)	64.1 (-6.7)	79.5 (+5.6)	62.4 (-10.8)

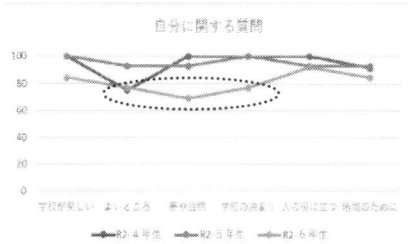
【確かな学力の育成】

OR2県学習状況調査



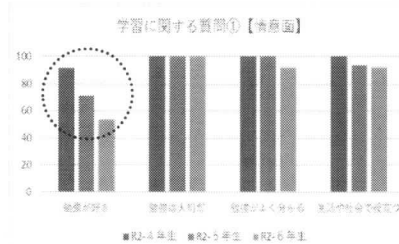
【確かな学力の育成】

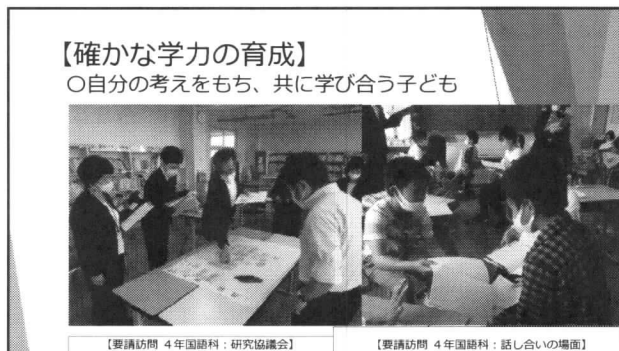
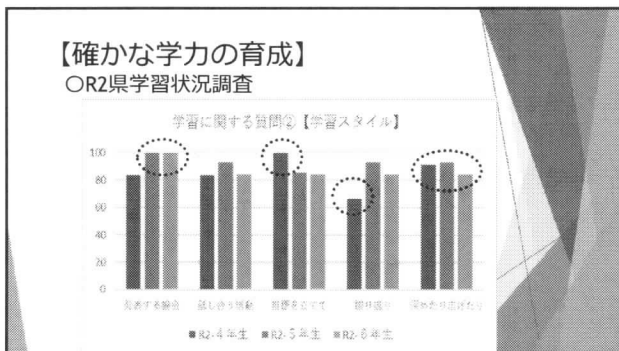
OR2県学習状況調査



【確かな学力の育成】

OR2県学習状況調査

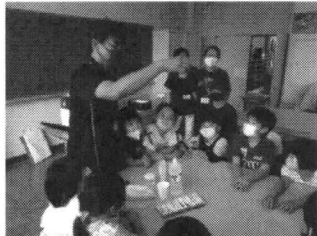






**【確かな学力の育成】**

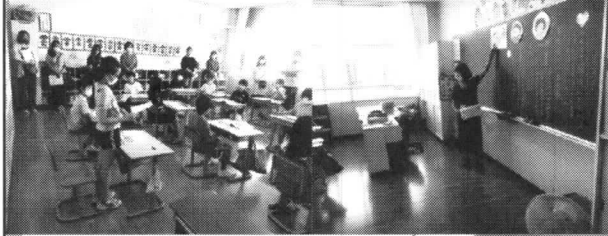
○地域と協働、連携する学校教育の推進



【放課後子ども教室】

**【豊かな心の育成】**

○全教育活動を通じて行う道徳教育



【PTA授業参観で道徳の授業を提示】

**【豊かな心の育成】**

○全教育活動を通じて行う道徳教育



【所長訪問で道徳の授業を提示】

**【豊かな心の育成】**

○ふるさと教育・キャリア教育の充実



【地域の方々による学校菜園起耕作業】

【学校菜園活動 サツマイモの苗植え】

**【豊かな心の育成】**

○ふるさと教育・キャリア教育の充実



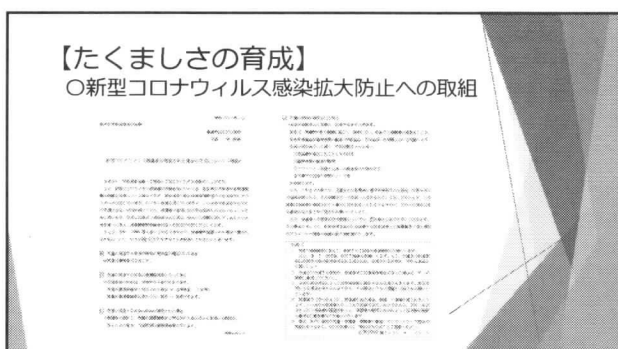
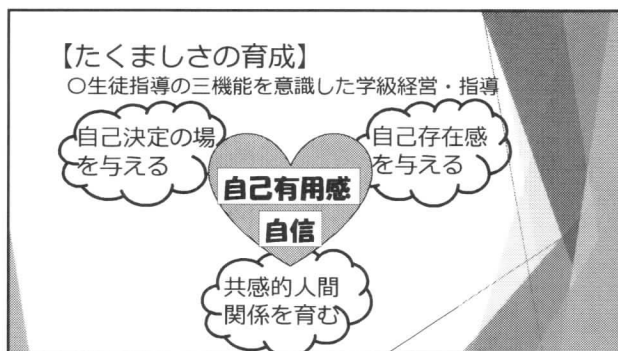
【枝豆の収穫】

**【豊かな心の育成】**

○ふるさと教育・キャリア教育の充実



【枝豆の収穫】



【たくましい心と体の育成】

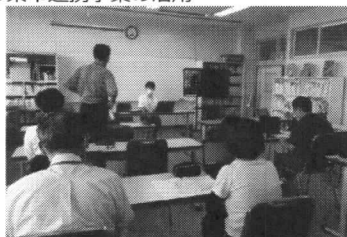
○交通安全指導



【交通安全教室（4月27日）】

【教職員の研修の充実】

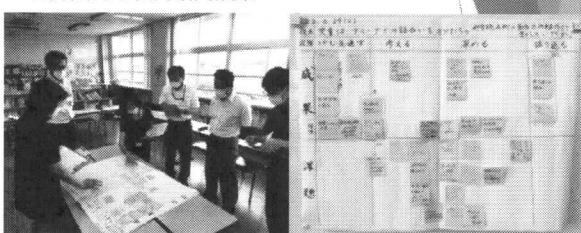
○県市連携事業の活用



【県市連携事業：ICT活用研修】

【教職員の研修の充実】

○計画的な校内研究授業



【一人一研究授業 3年国語科：研究協議会】

【一人一研究授業 3年国語科：成果と課題】

【払戸小の子どもたち】



【長休み：校庭にて】



# R3 払戸小全国・学力学習状況調査簡易分析

令和3年9月22日 分析 長谷川

## ☆ 全国学力学習状況調査結果

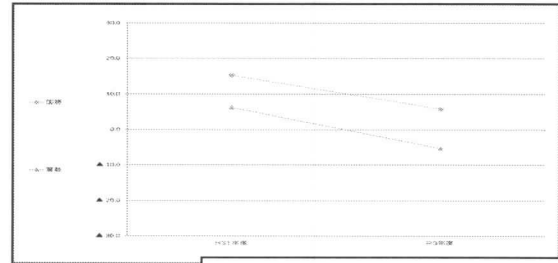
実施日令和3年5月27日

実施人数14名

### 1 調査結果概況より

平均正答率(%)

	国語	算数
払戸小	71	65
秋田県	71	72
全国	64.7	70.2



H31→R3 全国平均との比較

- ・国語は、県平均と同じ、全国より6.3ポイント上回っている
- ・算数は、県平均から7ポイント、全国平均より4.8ポイント下回っている。

### 2 問題別調査結果より

- ◎全国平均より10P程度高い設問
- 全国平均より10P程度高いが正答人数が多くない設問
- △全国平均より10P程度低い設問
- ▲正答人数が50%未満の設問

## <国語>

問題番号	内容	問題の概要	(正答人数/14人中)
◎2二	言葉	文中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	(13)
◎2一	読むこと	資料中の文章が何についてどのように書かれているか適切なものを選択する	(13)
◎1二	話すこと・聞くこと	スピーチの練習で二つの資料を使った理由の説明で適切なものを選択する	(13)
◎3三②	言葉	「残されています」の主語として適切なものを選択する	(12)
◎3二	書くこと	下書きを「西田さんの話」を用いて詳しく書き直す	(10)
◎3三①	言葉	「つみ重ね」の下線部を漢字を使って書き直す	(11)
○3三②	言葉	「すぐに」が詳しくしている言葉として適切なものを選択する	(8)
△1三	話すこと・聞くこと	話す内容として適切なものを選択する	(10)
△3三	言葉	「ころがっている」を漢字を使って書き直す	(11)
▲2三	読むこと	開発した人物は、何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかまとめて書く	(5)
▲2四	読むこと	面ファスナーが国際宇宙ステーションでどのように使われているのかをまとめて書く	(4)

学校全体として重点的に指導すべきと考えられる問題 (S-P表より)

- 1三 話すこと・聞くこと 話す内容として適切なものを選択する
- 3三 言葉 げんいん→原因(10)
- 3三 言葉 ころがっている→転がっている(10)

1三	第5学年及び第6学年 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと 正答 2・・・10名 誤答 3・・・4名
----	--

④ 教師になった卒業生の勤務校のある場所 (1903～1912年)

※印は勤務校のある市や町など

三 上野さんは「スベリ」の練習を繰り返して、この部分で「資料①」についての説明を加えて話すことにしました。上野さんは、どのように話すか、式(1)～式(4)の中から一つを選んで、その内容を書きましよう。

「スベリ」の練習

「資料①」を必ずこの地図を見てください。

※の字に塗り出しなさい。

このように、津野さんは、社会に出て活躍する準備を

上野さん

1 資料の印(○)の分布をみると、教師になった卒業生は「1」勤務校がありました。

2 資料の印(○)の分布をみると、教師になった卒業生は「2」勤務校がありました。

3 資料の印(○)の分布をみると、教師になった卒業生は「3」勤務校がありました。

4 資料の印(○)の分布をみると、教師になった卒業生は「4」勤務校がありました。

# <算数>

問題番号	内容	問題の概要	(正答人数/14人中)
・3(1)	データの利用	棒グラフから数量を読み取って選ぶ (14)	
△3(2)	データの利用	学年ごとの本の貸出冊数について棒グラフから分かることを選ぶ (11)	
▲1(1)	数と計算・測定	二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く (6)	
▲1(3)	変化と関係	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く (6)	
▲4(2)	数と計算	8人に4Lのジュースを分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く (4)	
▲2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を書く (6)		

## 学校全体として重点的に指導すべきと考えられる問題 (S-P表より)

- 3(2) データの利用 学年ごとの本の貸出冊数について棒グラフから分かることを選ぶ
- 1(5) 変化と関係 分速540mのバスが2700m進むのにかかる時間を求める式を書く
- 4(1) 数と計算 余りのある除法の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く
- 1(1) 数と計算・測定 二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く
- 1(3) 変化と関係 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く
- 4(2) 数と計算 8人に4Lのジュースを分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く
- 2(3) 図形 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を書く

4

- (2) 8人に、4Lのジュースを等しく分けます。  
一人分は何Lですか。求める式と答えを書きましょう。

第4学年の領域・内容

正答 4 ÷ 8 = 0.5 0.5L...4名

誤答 8 ÷ 4 = 2 2L...10名

## 算数 1 日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること

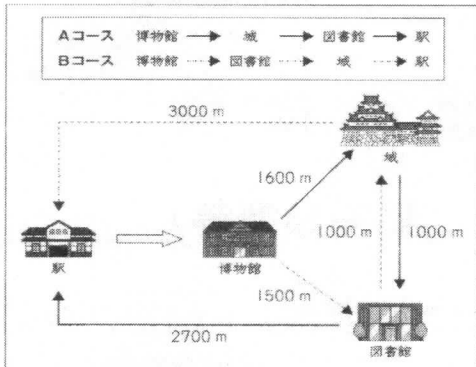
(地域めぐり)

1

たけるさんたちは、地域の昔のことについて調べるために、博物館と城と図書館へ行きます。

- (1) たけるさんたちは、駅に集合してから博物館へ行きます。  
博物館の後のコースについては、下の2つのコースを考えました。

2つのコースと道のり



たけるさんたちは、道のりがBコースより短いAコースで行くことにしました。

Aコースの道のりは、Bコースの道のりより何m短いですか。  
求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

第1学年・第2学年・第3学年の領域・内容

正答例

- ・A 1600 + 1000 + 2700 = 5300
- ・B 1500 + 1000 + 3000 = 5500
- 5500 - 5300 = 200 200m 短い...6名

誤答

- ・上の方法だが200m以外の答え...5名
- ・AとBで道のりが異なる二組の長さを用いた(1000mを使わない)が、たどりつけず200m以外の答え...2名
- それ以外...1名

3 領域別の解答状況より

——平均程度 (差5%内)	↑ (差5~10%)	↑↑ (差10~20%)	↑↑↑ (差20%~)
---------------	------------	--------------	-------------

国語

言葉の特徴や使い方に関する事項	県——	全国より↑
話すこと・聞くこと	県——	全国——
書くこと	県——	全国より↑
読むこと	県——	全国より↑

算数

数と計算	県より↓↓	全国より↓↓
図形	県——	全国より↓
測定	県より↓	全国より↓
変化と関係	県——	全国——
データの活用	県——	全国——

4 問題形式別の解答状況より

国語

選択式	県国——
短答式	県国——
記述式	県国——

算数

選択式	県国——
短答式	県国↓
記述式	県↓↓ 国↓

5 児童質問紙結果チャートから

◎県平均より高い	○全国平均より高い	△県平均より低い	▲全国平均より低い
----------	-----------	----------	-----------

◎規範意識 ○自己有用感 ○生活習慣・学習習慣

△国語への関心等 △算数への関心等